

第3学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識・技能〕</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考・判断・表現〕</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。〔主体的に学習に取り組む態度〕</p>
教科書	国語3（光村図書） 新編新しい書写2・3年用（東京書籍）
副教材	国語のワーク 漢字スキル すらすら基本文法

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。</p> <p>(1)言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等）</p> <p>(2)情報の扱い方に関する事項（文章や資料等の関係を理解や整理等）</p> <p>(3)我が国の言語文化に関する事項（伝統的な言語文化や書写等）</p>	<p>各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。</p>	<p>各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。</p>
<p>・テスト（定期、単元、技能等）</p> <p>※技能テスト：音読、スピーチ、書写作品等</p> <p>・授業の活動や発言</p> <p>・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）</p>	<p>・テスト（定期、単元等）</p> <p>・授業の活動や内容</p> <p>・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）</p>	<p>・授業の活動や内容</p> <p>・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）</p> <p>・振り返り</p>

3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分の考えと比較しながら考えましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫して丁寧にまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に入る前には、教材文を繰り返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか整理し、自分の考えをまとめておきましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・ワークやiプリ等を活用し、復習をすることで、学校で学んだことを定着させましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	世界はうつくしいと（読） 握手（読） 文法 助詞	<ul style="list-style-type: none"> 言葉に対する感覚を磨き語彙を豊かにする。 登場人物の言動を表す語句に着目し、その意味を考える。 作品の展開を踏まえて、その生き方について考えを深める。
5	挨拶 -原爆の写真によせて（読） 学びて時に之を習ふ（読）	<ul style="list-style-type: none"> 比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考える。 歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れる。
6	作られた「物語」を超えて（読） 文法 助動詞 思考のレッスン 具体化・抽象化（情） 論理の展開を意識して書こう（書）	<ul style="list-style-type: none"> 文章における具体と抽象の関係を捉える。 論説の特性を踏まえ、文章の構成や論理の展開を評価する。 具体と抽象の関係の理解を深める。 相手を説得できるように、話の構成を工夫する。 文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価する。
7	俳句の可能性/俳句を味わう（読）	<ul style="list-style-type: none"> 俳句の特徴について、理解を深める。 内容や表現のしかたに着目し、俳句を評価しながら読み深める。
9	漢字 1 熟語の読み方 言葉 2 和語・漢語・外来語 言葉の釣り糸を垂らす（読）	<ul style="list-style-type: none"> 熟語の読み方について知り、読んだり使ったりできる 和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴について理解する。 文章を読んで考えを広げたり深めたりする。
10	言葉 3 慣用句・ことわざ・故事成語 故郷（読） [推敲] 論理の展開を整える 音読を楽しもう 初恋（読）	<ul style="list-style-type: none"> 慣用句やことわざ、故事成語の特徴や性質について理解する。 小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 論理の展開や内容に関わる点に着目して、文章を整える。 比喩や象徴的な表現に着目し、作品のもつメッセージを捉える。
11	君待つと -万葉・古今・新古今（読） 夏草 -「おくのほそ道」から（読）	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌の世界に親しみ、表現の効果などについて考える。
12	文法への扉 2（紛らわしい品詞の識別）	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習した文法の知識を使って、文法上の異なる働き、違いについて考える。
1	それでも、言葉を	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事例を挙げるなどして、抽象的な概念への理解を深める。 筆者の見方や考え方を踏まえ、言葉についての自分の意見をもつ。 文章を読み、言葉との向き合い方について自分の意見をもつ。
2	温かいスープ アラスカとの出会い 律儀な桜	<ul style="list-style-type: none"> 3つの文章を読み、その中で一番感銘を受けた文章の感想を、自分の経験を交えて書いてみよう。
3	三年間の歩みを振り返ろう（話・聞）（書）	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の学びを振り返り、テーマを決める。 場の状況によって言葉を選び、自分の考えをわかりやすく伝える。

※文法・書写は、国語科の授業の中で、随時学習します。